

学校名 熊谷市立吉岡中学校
 所在地 熊谷市平塚新田479-2
 電話 048(536)0880

1 本校の概要

本校は、多くの自然に囲まれた荒川南側の平地と丘陵の中間にある、生徒数148名の小規模校である。昼休みの図書の貸出は、図書委員会と図書館補助員によって行われ、ほぼ毎日生徒の利用がある。また、木曜日を除く週4日、10分間の朝読書を行っている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ① 読書活動の充実
- ② 学校図書館等の環境の工夫

(2) 実践の概要

① 読書活動の充実

ア 熊谷市推薦図書「こころのたから」を集中配架し、さらにその中から吉岡中学校推薦図書「こころのビタミン30」を選定して紹介している。30冊リストは、3年に一度改定を行っている。

朝読書10分間で、1年間10冊読破を目指そう!!

書名	出版社	作者名	その本で読破される心の豊かさ
1 金閣寺	新潮社	三島由紀夫	金閣寺の華しき魂を襲われ、放火した若い字輩の心のこたつろろを描いた作品。三島由紀夫の本文がその悲劇を描きます。
2 あのころは「フリードリヒ」に	岩波書店	リヒター	主人公の少年は、ユダヤ人フリードリヒと彼を差別する周囲の人々との間で苦しむ。第二次大戦下のユダヤ人追放と少年の友情を描いた作品。
3 13歳のハローワーク	幻冬舎	村上龍	今興味を持っていることを追求していくことで様々な職業に触れ、自分の将来について考えるきっかけとなる本。
4 おどろにひねりかた	福成社	米倉資加年	卒業失調で死んでいった弟に寄せるつらく切ない思いをつづり、戦争の非人関係を訴える作品。
5 カラフル	理論社	森絵都	死んだはずの魂が中学生の体にホームステイし、ちょっと悲慘な家族や一風変わった友達に出会う。生きることの大切さを問うコメディ。
6 少年H	講談社	林尾河童	洋楽屋の父親とカリスマの母親に育てられた、好む心と正義感が人一倍旺盛な少年はこと妹尾が巻き起こす愛と笑いと勇気を描いた一冊。
7 黒い雨	新潮社	芥川龍之介	被爆者「閑間重松」黒い雨にうたれた短「失物」の不安と苦しみの日々を語り、悲劇の真の感受性をあなただけの少年の瞳に映った文や様子を丹念に描ききつてあったかもしれない。
8 高円寺神橋商店街	新潮文庫	おじめ正一	

吉岡中学校推薦図書

「こころのビタミン30」リスト



イ 全校生徒の読書感想文を年度末まで図書室で保管し、よい作品をいつでも参考にできるようにしている。また、地区の作文集と感想文集は、過年度分も含めて常時図書

室廊下へ配架し、自由に閲覧できるようになっている。

ウ 各種リーフレットや学年行事にあわせて特設コーナーを作り、生徒が様々な本を手にとれるように工夫している。



読書感想文ファイル



キャリア・スタートワーク
テーマ:「職業」

② 学校図書館等の環境の工夫

図書館補助員が中心となり、生徒の関心を高める掲示物を作成している。



「月の呼び方」



「漢字で世界一周」



「生徒作成の貸出看板」

3 成果と今後の課題

夏休みの読書感想文の対象として、熊谷市及び校内の推薦図書を指定したり、そのリスト一覧を一人一人に配布したりして、生徒の読書活動に対する意欲を高めてきた。

また今年度は、図書室の環境整備や図書館補助員の効果的な活用により、図書室が本の貸出としての場から、学習の場へと変わりつつある。

現在、廃棄図書の検討とともに、蔵書の質的な充実が課題となっている。今後は、生徒の探究活動や授業内容に沿った図書を選定していくことが必要である。